

# 廃材を生かした木工教室の開催とそれによる将来顧客開拓支援

美里町商工会 清見 康弘

事業者名：松井建設

業種：建設業



事業所（工場）外観

## 担当者コメント

今回の持続化補助金は2回目の申請でしたが、個別相談会での専門家による指導も積極的に受けられたことなどが、大きな成果に結びついたと思います。

## 支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
<input type="radio"/>	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
<input type="radio"/>	資金繰り
<input type="radio"/>	持続化補助金
	その他

## 支援前の課題

### 【企業概要】

(創業) 2015年7月

(代表者の年齢) 45歳

代表者は高校を卒業後すぐに先代(父)の建設業に従事し、平成27年に事業承継して現在に至る。事業は祖父の代から続いており、美里町(旧中央町)に根差した経営を約100年続けている。

- (現状分析)・強み ⇒ 27年間の大工歴があり、1級建築大工技能士・2級建築士の資格がある。
- ・弱み ⇒ 代表者1人での経営のため、年間の受注件数や内容に限りがある。
  - ・機会 ⇒ SDGs に対する関心の高まり
  - ・売れ筋商品・顧客ニーズの把握 ⇒ DIY需要
  - ・競合する店舗等 大手ハウスメーカーなど

### 【支援課題・支援計画】

(支援課題) 工事施工の閑散期を活用した販路開拓、それに伴う資金繰り

(短期計画) 新事業の開始に伴う機械設備導入、および認知度向上

(中長期計画) 木工加工品の自社ブランド化による販売

## 支援内容

### フェーズ1 現状分析支援

戸建ての建築工事や内装工事の受注のない閑散期に売上が立たないこと、工事で出る廃材の処分費用が利益を

圧迫しているなどの課題を抱えていた。知人から頼まれて行った小規模の木工教室を、廃材を使って実施したところ大好評であったことから、閑散期に廃材を活用した木工教室を事業化したいとの相談があり、必要な機械装置の選定や周知の方法、事業化による売上・利益について分析を行った。

### フェーズ2 小規模事業者持続化補助金申請支援

フェーズ1で分析した内容をもとに、木工教室の参加者が様々な工作を行える機械装置の導入と木工教室の周知について、小規模事業者持続化補助金を活用することとし、経営計画・補助事業計画の作成を支援した。作成にあたっては、申請書のブラッシュアップのための専門家派遣（2回）や、事業周知については代表者の知人でもあるデザイン会社を営む青年部員の協力も得た。

### フェーズ3 資金繰り支援

小規模事業者持続化補助金の補助事業遂行にあたっては、円滑な補助事業の遂行と補助事業実施後の安定した資金繰りを行うために、日本政策金融公庫と連携して短期の運転・設備資金の金融支援を行った。

#### （進捗・成果）

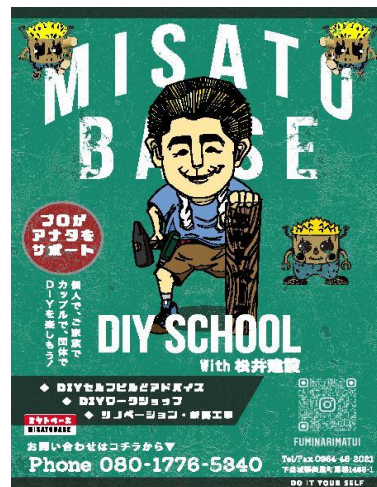
木工教室参加者の中から、参加者の自宅等のリフォーム工事依頼があり、約200万円の売上につながった点は、持続化補助金の補助事業の効果として見込んでいたとおりとなった。



木工教室風景



木工教室での作品例



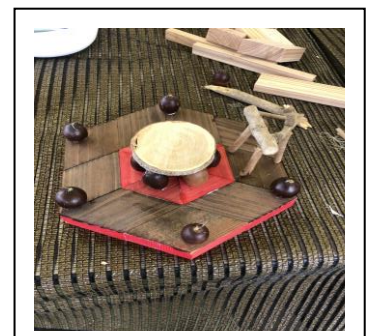
木工教室周知のチラシ

## 事業者様の声

補助金を活用して新規事業を行えただけでなく、本業の売上に繋がったことがとても良かったです。今後もこのような補助金を活用して、事業を拡大できればと思います。

#### 取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

木工教室については、不定期で開催しています。まとまった人数や会場があれば美里町以外でも開催できますので、ご興味がある方は商工会を通じてご連絡いただくと幸いです。



木工教室での作品例